你好

efadm010@sensyu.ne.jp

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたしま

ご挨拶

岸和田市日中友好協会

会長　武井俊成

会員の皆様にはお揃いで良いお正月をお迎えのことと存じます。

令和 6 年度を振り返れば、明るいニュースよりも暗い出来事の方が心に残っております。能登の大震災から始まった自然災害の数々、東南海地震への恐怖も一段と増しました。世界では戦争が終結せず、平和が遠ざかる地域の広がりに一刻も早く平和が訪れるよう祈るばかりです。

日本と中国の関係は依然として厳しい状況で、双方ともいろんな面で努力している様子が見られますが、まだまだ改善していかねばならないと考えます。

私たち岸和田市日中友好も引き続き文化面での交流を通してお互いをより知ることで、理解を深める活動を行ってきました。10 月には市立自泉会館ホールにてモンゴルの馬頭琴奏者，李波氏をお迎えし「李波＆劉偉、モンゴルの風スペシャルサート」を開催しました。11 月には「秋の日中収穫交流会」を実施し、総領事館から 20 名を超える参加を頂き、ミカン狩り、芋ほり、すき焼き、抽選会で大変盛り上がる一日を過ごすことができました。11 月 30 日。12 月 1 日の 2 日間、市立文化会館展示場おいて「岸和田＆中国小学生絵画交流展」を開催、中国の友好都市汕頭市と岸和田市の小学生作品計 220 点を展示して関係者を中心に 400 名の観覧を頂きました。一口感想文を書いていただきましたが、作品の素晴らしさと参考になったと多くの感想をいただき、理解の深まりを実感いたしました。

大阪観光大学との交流は中賀祐子会員によるお茶の講座の担当、また学校が実施しております中国 Day に焼きビーフンの販売、古箏の演奏、チャイナドレスの試着で参加、留学生を中心に交流を深めました。2 月には「中国茶の集い」を開催して本場のお茶を楽しみます。

4 月には大阪・関西万博も開催され、中国からも大勢来られることで交流も深まることと思います。本年も文化を通してからお互いの理解が深まるよう努めます。

最後に、皆様方のご多幸、ご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市のまちづくり、とりわけ国際交流事業にご支援、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

新年号あいさつ

岸和田　市長

永野　耕平

貴協会は市民の組織として設立され、訪問団の受け入れや派遣、中国でのり緑化活動、スポーツ交流等〃多彩な活動を続けられ、両国の相互理解と友好を深めてこられました。歴代の役員の方々をはじめ会員各位の長きにわたるご尽力に深く敬意と感謝の意を表すところであります。

昨年も「秋の収穫交流会」におまねきいただきありがとうございました。残念ながら、ご挨拶のみの参加となりましたが本市に来ていただいたお客様のたのしまれている姿を見ることができましたし、盛況な催しとなったことに喜ばしく思いました。

また、本市は汕頭市と上海市楊浦区の友好交流関係を深めているところです。協会さまには、そのうちの一つ、汕頭市との「小学生絵画交流展」を主催していただきました。このような、文化・芸術・・スポーツ等々を通して友好交流を深めることは、大変意義深いものがございます。その輪の広がりが、中国と日本、ひいては世界の平和と繁栄に大きく寄与するものと確信いたしております。

本市では、今後も様々な交流活動を通じ、両国間の親交を深めてまいりますので、貴協会の皆様方の今後ともご理解とご協力をお願いする次第です。

結びに、岸和田市日本中国友好協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念して、新年の挨拶といたします。

挨拶

NPO 法人大阪府日本中国友好協会

会長　梶本　徳彦

新年あけましておめでとうございます。

岸和田市日本中国友好協会の皆様にはご家族とともに良い新年をお迎えされたことと存じます。また、皆様には平素から日中友好の活動にご活躍いただきご苦労様です。

昨年、岸和田市日中におかれては、中国音楽コンサート、大阪観光大学と共同の交流イベント、友好都市の汕頭市との絵画交流展の開催、そして恒例の秋のミカン狩りなど多岐にわたる交流活動を展開され、日中友好に貢献されたことに心より敬意を表します。

現在もなおロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルのガザ攻撃など紛争による惨禍のニュースを見ない日はありません。折しも本年は太平洋戦争終結から80年、昭和で数えると100年。大阪府日中友好協会は、中国建国後直ちに二度と戦争を起こさず平和を追求するために結成され、今年で75 周年となります。あらためて初心に立ち返り、先人の伝統を受け継ぎ、しっかりと地に足の着いた友好活動の展開を進めてまいります。

現在の日中両国の関係は決して順調と言える状況にありません。昨年の「言論 NPO」の世論調査では、訪日経験のある中国人の 55.6％が日本に良い印象を持ち、訪日経験のない人の 97．2％が良くない印象を持つという結果でした。

日本人の中国に対する感情についても全く同じことがいえると思います。互いの国を実際に訪れて、対面で相手と話をし、意思疎通を図ることがどれほど大切であるか、それが今後の日中関係改善の重要ポイントであることを我々は認識し、行動することが求められています。その意味でも今年４月 13 日から 10 月まで開催される大阪・関西万博は、万博という場を通じ、また関連する観光を通じて多くの中国人が日本を知り、日本についての理解が深まる絶好の機会となることを期待します。

日中両国の良好な関係を築くためには政府だけでなく、我々地域に根差す民間団体の役割が欠かせません。私たちは、経済の互恵発展、文化交流、友好親善などこれまで培ってきた民間交流の伝統を未来に向けて飛躍・発展できるよう、ともに手を携え努力を重ねて参りましょう。

本年が岸和田市日中と会員の皆様にとって良き年になるようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新春のメッセージ

中華人民共和国駐大阪阪総領事館

総領事　　薛 剣

「你好」新年号の刊行に当たり、謹んで中華人民共和国駐大阪総領事館を代表しまして、岸和田市日中友好協会の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は中華人民共和国成立 75 周年であり、岸和田市日中友好協会におかれましても、実り豊かな一年でした。武井会長のご指導の下で、貴協会は中国音楽コンサート、秋の中日収穫交流会、日中小学生絵画交流展など、バラエティ豊かな交流活動を積極的に展開し、岸和田市民の対中理解と友好感情を促進しました。改めまして、皆様の長きに渡る中日友好へのご貢献や当館の取組みに対する多大なご支持に、心からの感謝と敬意を申し上げます。

中日関係は今、改善・発展の重要な段階にあります。先般、習近平主席と石破茂首相がペルーで会談し、戦略的互恵関係を全面的に推進しながら、新時代の要請に合致した建設的かつ安定した中日関係の構築に向けて、中日双方で努力していくことを改めて確認しました。新たなスタートに立ち、我々は両国指導者の共通認識に従い、民間と地方のレベルから中日関係にプラスのエネルギーを注入していかなければなりません。岸和田市日中友好協会の皆様には、自らの独特な役割を存分に発揮し、引き続き多様多彩な交流イベントや訪中活動を展開し、より多くの岸和田市民が中国を訪れ、中国を知り、中国が好きになるよう導き、中日友好の輪をさらに広げることで、両国関係の発展を後押しするよう期待しております。

結びに、新たな一年における、岸和田市日中友好協会の益々のご発展や、会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。